

科目名	発達障害基礎論	担当教員	館延忠 佐藤拓也 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	---------	------	---------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	2年次	前期	1単位	講義

科目概要	発達期に生じた障害を有する小児に対して、臨床場面で合理的なリハビリテーションアプローチを実施するため、代表的な各疾患の病態の基礎知識について学習するとともに、小児リハビリテーションの留意点、発達障害の概念、療育の概念・視点についても理解する。また、障害を乗り越えて社会への適応を図ろうとする対象児を支援する上では、医学的視点のみならず、心理・社会・教育的視点も重要であることを理解し、幅広い視野を培う。
学習目標	発達障害の概念、療育の概念・視点、小児リハビリテーションの留意点について理解する。 発達期に障害が生じる代表的な各疾患の病態について理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	総論 発達障害・小児リハビリテーション	発達障害、療育の概念・視点、および小児リハビリテーションの留意点について理解する。	
2	各論	神経発達症群について	神経発達症群の概念について理解する。 神経発達症群に分類される各障害の定義、含有する問題について理解する。	
3	各論	二分脊椎・主要な合併症について	二分脊椎、および主要な合併症について理解する。	
4	各論	筋ジストロフィーについて	筋ジストロフィーの代表的な型、特徴について理解する。	
5	各論	小児領域の循環器疾患・呼吸器疾患について	小児期の循環器、および呼吸器の生理と病態、代表的疾患について理解する。	
6	各論	小児領域の遺伝病・アレルギー疾患について	遺伝のメカニズムと小児期の代表的遺伝病、およびアレルギーのメカニズムと小児期の代表的疾患について理解する。	
7	各論	新生児・未熟児疾患について	周産期～新生児期の特徴、新生児・未熟児の代表的な疾患、早期リハビリテーションの意義について理解する。	
8	各論	肢体不自由児総論 脳性麻痺について	手足の不自由な子ども達のリハビリテーションの概要を理解する。 脳性麻痺の定義、代表的なタイプと特徴、合併する問題について理解する。	
評価方法		筆記試験(100%)		
教科図書		標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 小児科学第4版：医学書院		
参考図書		特に指定しない。		
学習の準備		指定した教科書の該当部分を事前に読んでおくこと		
オフィスアワー		講義1回目のガイダンスで説明する。		
担当教員欄に※印を付した教員の実務経験				